

保健・医療・福祉の連携強化に向けた取組について

1. 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築(にも包括)に向けた取組

精神障害のある人が安心して生活ができる地域づくりを目指し、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて、目黒区精神保健医療福祉推進協議会を軸に、「構築推進事業」と「構築支援事業」に取り組んでいる。

(1) 目黒区保健医療福祉推進協議会

委員構成	精神医療・精神保健福祉の各関係団体構成員、当事者及びその家族、区関係課長等		
設置目的	保健・医療・福祉関係者による協議の場を設け、区における精神障害施策に係る課題を共有するとともに、顔の見える関係づくりを通じて、精神障害者への支援体制構築を推進する。		
開催回数	5年度	6年度	7年度
	2回	2回	2回

(2) 構築推進事業(7年度実績はいずれも令和7年12月末現在)

ア アウトリーチ支援事業

保健師による通常の地区活動では、支援が困難な場合、多職種によるアウトリーチチームを編成し、集中的な支援を行う。支援方針検討会議にて、支援方針や支援方法について検討し、精神障害者の地域生活の安定を目指す。期間は6か月間を原則とし、アウトリーチチームの構成員は、医師、看護師、心理職と区の精神保健福祉士、保健師から支援方針に沿って選出する。

	5年度	6年度	7年度
支援件数	12件	4件	5件

イ 措置入院者退院後支援事業

措置入院者が退院後、地域で安心して生活できるよう必要な医療や福祉サービス、地域の支援が得られるよう支援計画を立て、関係機関が連携して支援する。

	5年度	6年度	7年度
警察官通報(区内)	31件	40件	36件
措置入院	16件	20件	19件

ウ 普及啓発

精神疾患や精神障害、メンタルヘルスに対する地域住民の正しい知識の普及や理解促進を図る。

	5年度	6年度	7年度
精神保健講演会	5回 計84人	4回 計99人	3回 計77人

関係機関向け 勉強会（年1回）	15人 集合形式	40人 集合形式	1,886人 オンデマンド
--------------------	-------------	-------------	------------------

エ ピアサポートの取組

ピアサポートについて、勉強会やワーキンググループ設置による検討会等を実施する「ぴあ交流会」を令和6年度及び7年度に各1回開催した。

オ 精神障害者退院相談支援事業

精神科病院に6か月以上入院し、病状が安定している精神障害のある方とその家族に対して、退院に向けた動機づけ支援、施設等の見学や体験の同行等を行い、指定地域相談支援のサービス利用申請をするまでの相談支援を行う。

	5年度	6年度	7年度
相談者	9人	8人	9人
相談件数	167件	171件	97件

(3) 構築支援事業

広域アドバイザー（精神保健福祉士）及び目黒区密着アドバイザーの支援を得ながら、目黒区保健医療福祉推進協議会を軸に、関係機関等との顔の見える関係づくりを推進している。

2. 精神障害者地域移行・地域定着推進連絡会

保健・医療・福祉等の関係機関が連携して支援を行うため連絡会を開催し、個別ケースの支援方針の確認・検討や事業の周知、新規ケースの掘り起こし等を行う。令和2年度にコロナ禍で中止して以降、未開催のまま現在に至るため、今後、役割や所掌事項等が重複している目黒区保健医療福祉推進協議会との役割分担を明確にし、各会議体の位置づけを整理することで、効果的な支援体制の構築を検討していく。